

“優しく、強く、愛しい人”の育成

～ 令和 7 年度 全国学力・学習状況調査の結果から ～

本年4月中旬に3年生が実施した「全国学力・学習状況調査」について、全国や静岡県調査の結果が新聞等に掲載されました。文科省から届いた焼津市の調査結果を分析しましたので、その概要をお知らせします。



まずは、「**焼津市教育大綱**」に関する生徒への質問事項の結果から報告します。

現行の教育大綱は、生徒たちがこれからの時代をたくましく、しなやかに生き、自分らしい人生を輝かせていくため、「優しさと強さを兼ね備えた愛しい人」へと成長することを目標として、令和3年度から施行され、今年是最終年度である5年目を迎えています。

「優しさ」と「強さ」を兼ね備えた「愛しい」人に……

- つまりいても、失敗しても、あるいは壁にぶつかっても、負けないで粘り強く立ち向かう「たくましい強さ」をもった人
- 時代の変化に対応できる柔軟さ、あるいは苦しい体験や辛い思いをしたときに折れることなく、それらをよい経験としてポジティブに受け止めるなどの「柔軟な強さ」をもった人
- 他者の立場を理解し認め、他者の考えを受け入れられる優しさをもった人。他者との協調や協働を大切に、和の心をもった人

生徒たち一人一人が「優しく、強く、愛しい人」に育っていくために、つまりきや失敗、試行錯誤する経験がとても大切です。思い通りに達成できなくても、そこで諦めるのではなく、繰り返し挑戦する経験を重ねる中で、真の強さや優しさを身に付けていくのです。

以下の表は、生徒質問紙の「教育大綱」に示された理念等に関わる質問事項の令和3年度から今年度(7年度)までの結果を示しています。もともと95%超の④の質問事項を除き、多少の波はありますが、全ての項目で、数値が上がっています。

No.	学習状況調査(生徒質問紙)の「教育大綱」にかかわる質問事項	R3	R4	R5	R6	R7
①	自分には、よいところがあると思いますか	79.2	76.9	77.6	82.0	86.5
②	将来の夢や目標を持っていますか	68.3	63.4	61.9	65.5	70.5
③	人が困っているときは、進んで助けていますか	89.3	86.8	86.1	91.3	92.1
④	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.2	93.6	95.0	95.4	96.1
⑤	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	74.5	76.5	77.0	79.3	81.5
⑥	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか			86.8	91.0	92.2
⑦	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	69.1	69.5	65.4	80.7	76.0

これらの結果から、各学校で教育大綱の理念を柱に学校教育目標や重点目標を立て、日々の教育活動において、「生徒たちが自ら判断し、自ら動き出すことを意図した働きかけ」を積み上げてきており、それがこの成果に結びついていると考えられます。なお、本年度の焼津市の学校教育の重点は「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」です。

■■ 国語・数学・理科の学習について ■■

【国語】「国語の勉強が好き」…全国比+2.6P

「国語の勉強が好きですか」の質問に前向きに回答した生徒は、全国を2.6ポイント上回りました。

問題形式では、「表現の工夫や効果」を捉える「選択式」問題は高い正答率でしたが、「工夫や効果」についての考えを書く「記述式」問題は、芳しくない結果でした。自分の考えが伝わるように、根拠を明確にしたり表現を工夫したりして書くことに課題があると考えられます。授業では、要点をまとめて論理的に説明できるよう指導していきます。

言葉に関して、「変換した漢字」「言葉の意味」として適切なものを選択する問題では、どちらも低い正答率でした。日頃の学習では、生徒が単なる漢字の読み書きの練習にとどまらず、実生活の中でどのように使うのかを意識できるような指導に努めます。また、語彙力や表現力を高めるためには、様々な文章に触れる機会である読書が大切です。



【数学】「数学の勉強が得意」…全国比 +1.4P

数学は、『図形』『データの活用』の領域において、全国とほぼ同じ正答率でした。『データの活用』は、これまでは課題として捉えていましたが、本年度は4領域において最も高い正答率でした。また、問題形式では「選択式」の正答率が最も高く、次に「短答式」で、「記述式」は最も低い結果でした。このことから、問題解決のために必要な基礎的な知識・技能は身につけていると考えられますが、問題解決の過程を数学の用語や数学的な表現を用いて説明することに課題があると考えられます。

「数学の勉強は好きですか」「数学の勉強は得意ですか」の肯定的回答が全国比+0.9P+1.4Pですので、生徒がさらに数学の学習を肯定的に捉えることができるよう、実生活と数学との関わりを実感できる授業に取り組んでいきたいと思います。

【理科】「理科の勉強が好き」…全国比+1.6P

領域別では、全ての領域で正答率が全国よりも高く、特に「粒子」を柱とする領域が最も高い正答率でした。問題形式別では、選択式問題の正答率が高く、無解答率はほとんどの問題で0%と低く、学習した内容が知識として身につけていることが分かります。

また、今回は初めて理科の調査に限ってオンライン方式が導入され、タブレット端末で動画や音声を使った問題が出題されました。本市の生徒はタブレット入力に慣れているため、従来の解答用紙に記入するよりも、解答しようという意欲が高まった可能性があることも正答率の高さにつながったと考えられます。

一方で、思考を問う記述式で答える問題の正答率が低く、「知識及び技能を活用して、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる」問題や、「調査の結果を関連付けて、表現できるかどうかをみる」問題で課題が見られました。今後は、これまで以上に、生徒が主体的に授業に取り組む中で知識を習得すると共に、習得した知識を関連付け、結論の根拠は何かを考える授業に取り組んでいきたいと思います。

□□ 家庭・学校・地域…安定した生活の様子がうかがえます □□

1 家庭生活

家庭での基本的な生活について、「朝食を毎日食べている」が91.9%、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」が91.7%で、焼津市の多くの生徒たちは、基本的な生活習慣が身に付いていることが分かります。

家庭学習については、「1日の家庭学習が2時間以上」は、平日、休日共に全国平均をやや下回りました。ただし、家庭学習の時間が長いことが、学習内容の定着に結びつくものではなく、むしろ、親や教師など周りの人に言われて家庭学習に取り組む生徒よりも、自分の意志で必要な学習を考えて取り組んでいる生徒の方が、正答率が高いことが分かっています。

ご家庭では、お子さんが、時間の使い方に関して自分自身で考え、判断し、行動することができるよう、そのための温かな声掛けなど働きかけを大切にしてください。

また、学力の定着には、実生活とのつながりを実感することも非常に重要です。学校で学んだことを、日常生活や実社会の中で活用されている場を見つけ、お子さんが学習した知識技能の価値に気付き、実際に自分自身で生活の中に生かしていく経験を積んでいく機会を、ご家庭でも大切にしてください。



2 学校生活・授業

学校生活については、「学校に行くのが楽しい」が86.8%、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」が92.2%であり、どちらの質問項目においても全国を上回る結果となりました。

また、「困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」は78.3%でした。これは、全国を5.1P上回る結果です。今後も、教職員が生徒一人一人を大切にした声かけや支援に努めてまいります。

また、「PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用した」は、全国の76.5%に対し、焼津市は89.0%と12.5P高く、焼津市の学校では、授業でICT機器を積極的に活用していることが分かります。

3 社会（地域）生活

「人が困っているときは、進んで助けている」は92.1%、「人の役に立つ人間になりたいと思う」が96.1%と、多くの生徒が肯定的な回答をしています。焼津市の多くの中学生の「進んでよい行いをしよう」「周りの人と積極的に関わっていこう」とする思いが見て取れます。また、「地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思うか」という質問にも、75.3%の生徒が肯定的な回答をしています。

一方で、「習い事以外で地域の大人と関わること(勉強、スポーツ、体験活動等)がありますか」に、肯定的な回答をした生徒は24.3%でした。今、地域社会において中学生の活躍が期待されています。予測困難な時代を切り拓く、これからの社会の担い手であるお子さんの社会参画が、地域社会の活性化とお子さん自身のさらなる成長につながります。

□■□ 確かな学力を身に付けるために必要なことは… □■□

○棒グラフの棒の上の数値は、各教科の平均正答率（％）です。

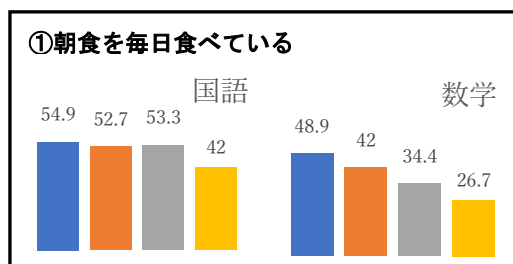
○棒グラフは左から順に以下のとおりの選択肢順に並んでいます。

・当てはまる ・どちらかと言えば当てはまる ・どちらかと言えば当てはまらない ・当てはまらない

1 基本的な生活習慣

右の表「①朝食を毎日食べているか」の質問に、「当てはまる」と回答した生徒の正答率は、「当てはまらない」と回答した生徒の正答率を、国語、算数共に大きく上回っていることがわかります。

同じように、次ページの「②毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という質問も、「当てはまる」と回答した生徒の正答率が、「当てはまらない」と回答した生徒の正答率を上回る結果となっています。



「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時間に寝たり、起きたりする」など、基本的な生活習慣が身に付いている生徒は、学習内容がきちんと定着している傾向にあります。

2 学習の振り返り・活用

「③学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」では、「当てはまる」と答えた生徒が、「当てはまらない」と答えた生徒に比べ、国語で 11.9P、数学では 24.4P 上回りました。日々、自分の学習を振り返り、次の学びにつなげている生徒は、学習内容が定着している傾向にあります。

また、「④数学で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか」という質問に「当てはまる」と回答した生徒の正答率は、「当てはまらない」と回答した生徒と比べて、23.1P 上回っていました。

学習の定着には、自分自身が学んだことを振り返り、現時点での自分自身の理解度を明らかにして、学んだことを生活の中で活用することが大切です。

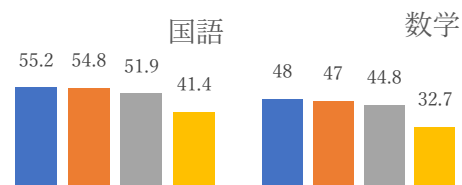
ご家庭では、お子さんがよりよい学び方を身に付けていくよう、励ましてあげてください。

3 他者との協働による学び

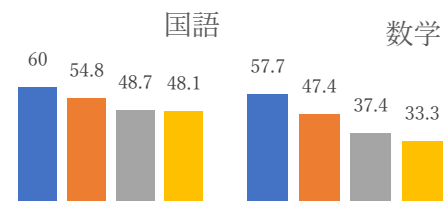
「⑤授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」では、「当てはまる」と答えた生徒の正答率が、「当てはまらない」と答えた生徒に比べ、国語で 14.3P、数学では 14.9P 上回っています。

友達など他者の多様な考えを尊重し、相談したり協力したりしながら協働的に学び、課題解決に取り組むことは、結果として学力の向上に結びつきます。さらに、これからの社会を切り拓くために必要な協働する力、挑戦する力といった資質・能力の育成にもつながります。

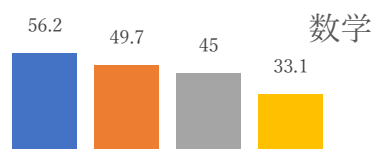
②毎日同じくらいの時間に寝ている



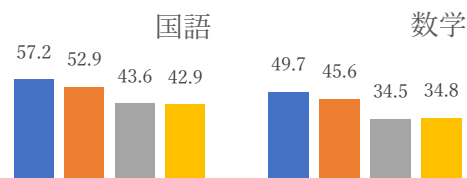
③学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる



④数学で学習したことを、普段の生活の中で活用できている



⑤授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる



かわいい子には旅をさせよ

学校では、「生徒の言動を決定づけたり、制限したりする教師からの指示は極力控え、たとえ失敗しても生徒が自ら判断し、自ら動き出すように意図的に働きかける指導」を積み重ねるよう努めています。

ご家庭では、お子さんが様々な経験ができるよう、支えてほしいと思います。たとえ、それがお子さんにとって苦勞であっても、手や口を出すことをできるだけ控え、温かく見守りながら励ましてあげてください。合い言葉は、「**かわいい子には、旅をさせよ**」です。

子供たちの成長を支えることができるように、共に取り組んでいきたいと思っています。



※ お子さんに学力調査問題等を配付しましたのでご確認ください。

焼津市教育委員会
教育センターみらい
631-4811

